

消費税増税  
問題学習会

# ゼロ税率実現を

淡路支部ニュース

2013.11.25  
No.298

兵庫県保険医協会淡路支部  
〒656-0051 洲本市物部  
3-3-44 松本産婦人科内  
TEL 0799-2210073

吉岡正雄副理事長(奥左)が講師を務めた



淡路支部は11月16日に洲本市内で、協会副理事長の吉岡正雄先生を講師に、学習会「消費税増税と医療『ゼロ税率』」を開催。7人が参加した。

## Let's...

今年台風の当たり年!?  
11月中旬に31号が南シナ海に発生。32号の発生もあるかも。二十十日、廿日の9月は平穩。秋10月に9〜10本そして11月に入って引き続き。もう一つ変なのが、そのコース。台風銀座と呼ばれている九州は直撃はゼロ。被害輕微。伊豆大島が二度にわたり、10月に日本めざして北上した6本も半分ずつ左右に分かれ、おかげさまで淡路は全く圏外。わが家も全く雨漏りありませんでした。伊豆大島は本当にお気の毒でした。経験が少な

いだけ対応が遅れ、被害も大きくなつたんでしょう。比島はさらに、(ヘクトパスカル800台の台風は今まで2本と聞いていたんですか)

私の聞きちがいがあるかとも思われますが、各メディアの発表も若干不勉強のような気がしました。一般の事件では最初にドカッと大見出しで漸次縮小が、台風・地震は逆のような。現地入りが遅れるという事情はあるでしょうが…。

昨今、変な事故事件引き続き多いですね。順不同列挙。プロ野球、楽天の日本一。田中将大シリーズ無敗。キャロライン・ケネディ駐日米大使着任(15日)。千葉県野田市の大爆発事件。人生いろいろの島倉千代子さん訃。

11月11日は28ぐらいの記念日だとか(いずれの機会に)。

最後に、17日の協会評議員会欠席。任を果たせなかったことお詫び申し上げます。寒くなりました。カゼひかないように!  
【松本記】

兵庫県保険医協会淡路支部「日常診療勉強会」  
**COPD患者への吸入指導**  
～有用性と注意点～(仮)

日時 12月21日(土)17時～18時  
会場 洲本市・夢海遊  
講師 聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院  
副院長兼呼吸器内科部長 駒瀬裕子先生  
座長 県立淡路医療センター内科部長  
小谷 義一先生  
共催 ノバルティスファーマ株式会社

お申し込み・お問い合わせは、TEL 078-393-1803 協会まで

<FAX返信先 078-393-1802 楠宛>

12月21日(土)淡路支部「日常診療勉強会」に  
( ) 参加する ( ) 都合がつけば

地区 \_\_\_\_\_ 市 \_\_\_\_\_ 医療機関名 \_\_\_\_\_ お名前 \_\_\_\_\_

## インターネットで保険医協会へアクセス

☆情報満載! 兵庫県保険医協会ホームページ

<http://www.hhk.jp/>

☆会員専用のメーリングリストを開設しております。

登録いただける方は下記までお知らせください。

E-mail : [hyogo-hok@doc-net.or.jp](mailto:hyogo-hok@doc-net.or.jp)



発表する高田裕支部長



## 第22回日常診療経験交流会

### 高田支部長が演題発表

協会が10月27日に神戸市産業振興センターで開催した第22回日常診療経験交流会で、高田裕・淡路支部長が、「患者満足度とIT」をテーマに演題発表した。当日は企画全体を通じて、医師・歯科医師・スタッフなど205人が参加した。

## 淡路支部ニュース300号記念号 掲載原稿募集

来年1月に淡路支部ニュースが発刊から300号目を迎えるにあたり、300号記念号を発行いたします。記念号に掲載する原稿を募集いたしますので、奮ってご投稿ください。

掲載号 2014年1月25日付(300号)

テーマ 自由(短歌、俳句、写真も可。ただし写真は白黒掲載)

字数 500字前後

締切 12月20日(金)

送り先 FAX 078-393-1802

メール kusunoki@doc-net.or.jp いずれも事務局・楠あて

連絡先 TEL 078-393-1803 兵庫県保険医協会事務局・楠

## 減点事例や算定方法などご相談ください

納得のいかない減点事例や、レセプトの記載、算定方法など、保険請求に関するご相談を受け付けています。困ったことがあれば、悩まずすぐにご連絡を。

お問い合わせは、TEL 078-393-1803

兵庫県保険医協会まで



県社会保障推進協議会が淡路島3市と懇談

# 国保・生保など改善求める



各市の医療・福祉・介護担当者らと懇談(写真は淡路市との懇談・11/18)

協会も加盟する県社会保障推進協議会(県社保協。会長は吉岡正雄・協会副理事長)は11月18日、淡路・洲本・南あわじ3市と、医療や福祉など社会保障施策について懇談を行った。県社保協は毎年、県下各自治体に社会保障に関

するアンケート調査を行い、回答に基づき各自治体との懇談を実施している。

国民健康保険について県社保協から、保険料の低所得者減免、多子世帯・母子世帯・障害者減免など条例減免を拡充しホームページや広報で周知することなどを求めた。

生活保護については3市から、長引く不況などで生活困窮者が増加するなか、受給世帯が増加していることなどが報告された。県社保協側は、要保護世帯の実態を無視した扶養義務の強制や行き過ぎた調査をやめることや、申請時、保護開始前の違法な「助言指導」、被保護者の実態を無視した就労指導の強要をしないことなどを要請した。

## 投稿を募集しています!!

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや主張など、テーマは問いません。地域色豊かな話題を淡路の会員の先生方で交流したいと思います。医科・歯科連携のアイデアなど、お寄せください。

【FAX】 078-393-1802

【E-mail】 kusunoki@doc-net.or.jp

淡路支部担当 楠(くすのき)まで

